



HOKKAIDO
ARTS FOUNDATION

令和7年度

事業募集の ご案内

事業計画書による応募

公益財団法人 北海道文化財団

目 次

募集する事業

文化の創造活動に関する事業

まちの文化創造事業	[共催]	2
アドバイザー派遣事業	[共催]	3

鑑賞機会の拡充に関する事業

アートシアター鑑賞事業	[共催]	4
-------------	------	---

文化活動の人材育成に関する事業

こどもアート体験事業	[主催]	6
------------	------	---

文化交流の促進に関する事業

文化交流事業	[助成]	8
--------	------	---

応募から結果通知までの流れ

まちの文化創造事業【共催事業】

地域の皆さんによる自主的・創造的な公演や、ワークショップ等の普及活動を含む展示や発表に対して共催します。

対象事業

- (1) 音楽、演劇、舞踊、伝統芸能等
- (2) 美術、文芸、映像、メディア芸術（映画、漫画、アニメーション及びコンピューター等を利用した芸術）
- (3) 複数の分野や地域にまたがる公演及び展示

※特定の指導者一門や流派の公演、個展や団体の会員のみによる発表、普及活動を伴わない展示等は対象になりません。

※当年度には行わないが、将来の公演等の実施を視野に、複数年で計画された事業については対象となる場合があります。

- (例) 初年度：脚本制作、ワークショップ
次年度：ワークショップ、小規模な発表（プレ公演）
最終年度：本公演

事業例

【舞台公演等】

- ドリーム・プロジェクト music + dance 2024（登別市）
- 伝統芸能の夕べ（滝川市）

【展示会、アートプロジェクト等】

- 令和6年度東川町・様似町文化交流事業「海のまち、山のまち 写真がつなぐ文化交流事業」（様似町）
- 葦の芸術原野祭 2024（斜里町）

対象団体

- 地域文化団体（過去3年以上継続的な活動を行っており、規約等を有する団体）
- 市町村
- 市町村教育委員会
- 実行委員会
- 公立文化施設の管理・運営団体 等

共催負担金の額

共催負担金対象経費の2分の1以内の額

【算出例①】

収入		支出	
自己財源	50万円	対象経費	180万円
入場料他	60万円	対象外経費	20万円
共催負担金	90万円		
合計	200万円	合計	200万円

計算式：対象経費180万円×1／2=90万円以内の額

【算出例②】（使途が特定された助成金等がある場合）

収入		支出	
自己財源	25万円	対象経費	180万円
入場料他	60万円		
使途特定の助成金	50万円	対象外経費	20万円
共催負担金	65万円		
合計	200万円	合計	200万円

計算式：対象経費180万円－使途特定の助成金50万円=130万円
130万円×1／2=65万円以内の額

その他

- 芸術文化振興基金や文化庁等の補助・助成事業等を申請する場合は、必ず事前にお知らせください。

共催要綱

URL : https://haf.jp/pdf/project/youkou01_machi.pdf



アドバイザー派遣事業【共催事業】

地域において自主的・創造的な文化活動に取り組んでいる団体等に、文化企画アドバイザーや舞台技術アドバイザー、舞台表現アドバイザーを派遣し、専門的・実践的な指導・助言等を行います。

■ 文化企画アドバイザー

文化団体や文化施設における文化事業の企画・制作等に係る専門的な助言・情報提供を行います。

※講演会の講師やシンポジウムのパネリスト等の業務は派遣対象になりません。

■ 舞台技術アドバイザー（舞台・照明・音響）

文化団体や文化施設における舞台製作の技術面やホール機能の活用等について、指導・助言を行います。

※舞台技術アドバイザーは4月以降も隨時募集を受け付けます。

■ 舞台表現アドバイザー

文化団体や文化施設が実施している音楽、演劇、舞踊等の創作・表現面について、ワークショップ等による指導・助言を行います。

※舞台公演における本公演の業務は、派遣対象なりません。

対象団体

- 地域文化団体（過去3年以上継続的な活動を行っており、規約等を有する団体）
- 市町村
- 市町村教育委員会
- 実行委員会
- 公立文化施設の管理・運営団体
- 学校（複数の学校が連携して実施する場合に限る） 等

経費の負担

- 財団の負担：アドバイザーに係る謝金と旅費
- 団体の負担：会場費、参加者の募集等に係る広報宣伝・印刷費 等

派遣回数

- 1事業につき原則、連続した3日又は3回を限度

謝金の基準

- 財団のアドバイザー派遣事業の謝金基準に基づき支給

旅 費

- 財団の旅費規程に基づき、交通費、日当、宿泊費を支給（領収書の提出が必要）

その他

- 参加者の負担（参加料、受講料等）は無料としてください。
- 過去に3回以上採択されている団体は対象なりません。

共催要領

URL : <https://haf.jp/pdf/ad-youryou.pdf>



アートシアター鑑賞事業【共催事業】

道内外で活動するアーティストによる音楽、演劇、舞踊等の公演です。当財団が作成した「公演企画資料」の中から各市町村等が希望する公演企画や、文化財団が推薦する公演企画を共催します。



※「公演企画資料」は右記URLで閲覧できます。https://haf.jp/archive_r2.html

■ 道内アーティストプログラム

「公演企画資料」に掲載の道内のアーティストによる公演

■ 道外アーティストプログラム

「公演企画資料」に掲載の道外のアーティストによる公演（ただし、2つ以上の団体が開催する場合に限る）

■ HAFセレクトプログラム

北海道文化財団が推薦するアーティストによる公演

対象団体

- 地域文化団体（過去3年以上継続的な活動を行っており、規約等を有する団体）
- 市町村
- 市町村教育委員会
- 実行委員会
- 公立文化施設の管理・運営団体 等

共催負担金の額

【道内アーティストプログラム】【道外アーティストプログラム】

共催負担金対象経費から入場料を除いた2分の1以内の額

【HAFセレクトプログラム】

共催負担金対象経費から入場料を除いた3分の2以内の額

その他

- 公演実施に際しては必ず入場料を徴収してください。
- 芸術文化振興基金や文化庁等の補助・助成事業等を申請する場合は、必ず事前にお知らせください。

共催要綱

URL : https://haf.jp/pdf/project/youkou02_art.pdf



HAFセレクトプログラム 1

荒井里桜ヴァイオリンコンサート

荒井里桜

1999年東京都出身。東京藝術大学音楽学部特待奨学生、首席卒業。ローザンヌ高等音楽院卒業。

第15回東京音楽コンクール弦楽部門第1位及び聴衆賞。第87回日本音楽コンクールバイオリン部門第1位。第20回ハチャトゥリアン国際コンクール第3位及びシユーベルト・インター・プリテーション特別賞を受賞。NHK響、読売日響、ローザンヌシンフォニエッタ、アルメニア国立響ほか多数のプロオーケストラと共に演。2024年度ロームミュージックファンデーション奨学生。

現在の使用楽器は、(株)日本ヴァイオリントより貸与の1837年製"J.F.Pressenda"。

これまでにジャニース・ヤンセン、ジエラール・ブーレ、永峰高志、澤和樹、山崎貴子、堀正文、玉井菜採の各氏に師事。



公演企画団体

住所	〒104-0061 東京都中央区銀座6-4-1 東海堂銀座ビル5階
TEL	03-3574-0969
担当者	加藤 佳奈子
ホームページ	https://www.kajimotomusic.com/
上演時期	令和7年6月後半～7月中旬、9月18日(木)～21(日)、以後のスケジュールは調整中
公演予定額	120万円程度（オール込み）
対象ホール規模	100席～600席
出演者	2名
スタッフ	1名

公演内容

ヴァイオリンとピアノのデュオ

【演奏プログラム例】

ペートーヴェン：ロマンス2番 へ長調 op.50

ペートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ第5番 へ長調 op. 24「春」

ショーラン：詩曲 op. 25

フォーレ：夢のあとに

フォーレ：ヴァイオリン・ソナタ第1番 イ長調 op. 13

※譜めくりの手配と費用が別途必要です。

HAFセレクトプログラム 2

■ 北芸亭・寄席演芸講座

北芸亭

若き注目演者が次々現れ、道内で人気の高まりつつある寄席演芸。その機運に更なるアプローチとして、落語芸術協会会長・春風亭昇太を座長にこれから注目の演者を取り揃え、幅広い年代層に向けた一般寄席公演（2021年～）、落語、講談、浪曲、音曲など各演芸ジャンルへの更なる知的欲求に応える寄席演芸講座（2022年～）、この二つの事業を『北芸亭』シリーズとして札幌で開催してきました。

公演内容

落語、講談、浪曲、音曲、太神楽など寄席演芸の各ジャンルを一つお選びいただき、解説中心の講座スタイル（～200名程度）、または体験中心のワークショップ（～30名程度）のいずれかをご希望の形で実施します。

出演者は道内でも公演経験のある演者で構成し、いずれも芸種に関しての歴史や解説を加え、実演を交えながら、来場者の知的欲求に応える内容をお届けします。

公演企画団体

住所	公益社団法人落語芸術協会 〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-12-30 芸能花伝舎2F
TEL	03-5909-3080
担当者	中谷 英亮
ホームページ	https://www.geikyo.com/
上演時期	通年
公演予定額	40万円程度（オール込み）
対象ホール規模	20席～200席（内容により応相談）
出演者	2名
スタッフ	1名



HAFセレクトプログラム 3

■ さっぽろ人形浄瑠璃あしり座「人形浄瑠璃公演」

さっぽろ人形浄瑠璃あしり座

北海道では触れる機会の少ない伝統人形芝居を一人でも多くの方々に観劇していただき、古典芸能の魅力を子どもから大人まで広く道民に伝え、人形浄瑠璃の普及に努めることを目的とし設立。

北海道で唯一の人形浄瑠璃芝居一座として令和6年度で創立30周年を迎えました。北海道に生まれた新たな伝統文化の形「さっぽろ人形浄瑠璃」の可能性を大きく広げるものとして、古典作品の上演の他、古典の基本を大切にしながらも自由な発想で、北海道ゆかりのオリジナル作品の創造、上演にも取り組んでいます。

公演内容

演 目 「二人三番叟」「伊達娘恋緋鹿子 火の見櫓の段」「釣女」（約90分）

内 容 舞台の無事を願うご祝儀舞「二人三番叟」から始まり、日本舞踊「櫓のお七」でも有名な「伊達娘恋緋鹿子 火の見櫓の段」、そして初心者でも楽しめる狂言を題材とした「釣女」の3つの演目をご覧いただきます。途中、人形解説やあらすじの説明を加えながらわかりやすく進めていきます。「伊達娘恋緋鹿子」「釣女」は義太夫の生演奏でご覧いただきます。※出演者の都合やご希望等により別プログラムの可能性もあります。

なお、ご希望があれば、子どもたち等への人形浄瑠璃体験ワークショップも実施可能です。

公演企画団体

住所	さっぽろ人形浄瑠璃あしり座 〒007-0835 北海道札幌市東区北35条東3丁目1-10-205
TEL	011-723-5911（やまびこ座） 090-1306-8612（代表 矢吹）
担当者	安田晃子（事務局長）
ホームページ	https://ashiriza.blogspot.com/
上演時期	通年
公演予定額	60万円程度（オール込み）
対象ホール規模	200席～500席
出演者	14名
スタッフ	3名



こどもアート体験事業【主催事業】

国内外で活躍するアーティストが学校や文化施設に出向き、ワークショップや創作活動を通じて子どもたちと交流する事業です。

対象団体

- 地域文化団体（過去3年以上継続的な活動を行っており、規約等を有する団体）
- 市町村
- 市町村教育委員会
- 実行委員会
- 公立文化施設の管理・運営団体
- 学校（教育委員会からの申請に限る）

経費の負担

- 財団の負担：アーティストに係る謝金と旅費、ワークショップ等に係る費用
- 団体の負担：会場費、参加者の募集等に係る広報宣伝・印刷費、現地での送迎 等

その他

- ワークショップへの参加者の負担（参加料、受講料等）は無料としてください。

派遣アーティスト

■ 沢 則行（人形劇師）

北海道小樽市出身。

1991年にフランス、1992年に文化庁在外研修派遣でチェコへ。以後、プラハを拠点に世界20ヶ国以上で公演、また、チェコ国立芸術アカデミー演劇・人形劇学部を始め、多くの教育現場で講座、ワークショップを行う。

ヨーロッパ文化賞「フランツ・カ夫カ・メダル」授与、EU文化都市賞など、国際的受賞多数。日本国内では、NHK「みんなのうた」映像制作、「SWITCH インタビュー達人達」出演、東京オリンピック・パラリンピックの公式文化プログラム「東京2020NIPPONフェスティバル～巨大人形プロジェクト『モツコ』」の人形デザイン設計および人形製作操演総指揮を担う。極小から巨大まで、あらゆる人形（＝フィギュア）を創造し操演するところから、フィギュアアートシアターの第一人者とされる。

2023年は野田秀樹作・演出「NODA・MAP～兎、波を走る」で人形担当。また2025年までの3ヶ年計画で台湾での巨大人形劇を監督中。



実施内容

人形劇のさまざまな表現方法を体験する2種類のワークショップを行います。ワークショップに先立ち、澤さんの小作品も上演します。

- 影絵ワークショップ
OHP（オーバーヘッドプロジェクター）で好きな形をスクリーンに投影し、影絵のお芝居を作つてみよう。
- 箱の人形劇（ボックスシアター）ワークショップ
色々な材料を使って小さな箱の劇場や登場人物を作り、人形劇を上演してみよう。



実施条件

- 時期：A) 7月12日（土）～7月13日（日）
B) 7月26日（土）～7月27日（日）
C) 9月6日（土）～9月7日（日）
D) 9月13日（土）～9月14日（日）
※AからDのいずれかの期間
- 期間：2日間
- 対象：小学4年生から中学3年生まで
- 人数：20名程度



■ 北尾 亘 (振付家・ダンサー・俳優 / Baobab主宰)

2009年ダンスカンパニー「Baobab」を旗揚げ。単独公演ほか国内外のフェスティバルに参加。振付家として、柿喰う客や木ノ下歌舞伎、範宙遊泳など舞台作品のほか、NHK連続テレビ小説『半分、青い。』などTVドラマ、CM、映画にも振付を多数提供。ダンサー・俳優として、近藤良平、福原充則、熊谷拓明、杉原邦生、山本卓卓などの作品に出演。ワークショップやアウトリーチ活動などを全国で展開。尚美学園大学・桜美林大学・多摩美術大学非常勤講師。トヨタコレオグラフィーアワード2012「オーディエンス賞」、横浜ダンスコレクション2018コンペティション! 「ベストダンサー賞」などを受賞、ベッシー賞(ニューヨーク・ダンス&パフォーマンス賞)「OUTSTANDING PERFORMER部門」(2020年)ノミネート。



実施内容

日常の中でのストーリーや、実際に見たり触れたりしている物を題材にダンスを創作し、身体表現の楽しさを体験します。

実施条件

- 時期：要相談
- 期間：2日間程度
- 対象：小学生
- 人数：10～20名程度



■ 加賀城 匠貴 (パフォーマー・絵本作家)

いつも目にする日常のもの、ことを一変させるユーモラスな発想で、ステージパフォーマンス、執筆、教育など、幅にとらわれず活動。1999年、『scherzo』をスタート。企画・原案を手がけたNHK Eテレ『ミ・タ・テ』で、札幌ADC準グランプリ、東京TDC賞入選。著書に、『脳トレ！パツツブツク』全4巻（教育画劇）、絵本『ねぐせきようだい』（中西出版）。北海道教育大学非常勤講師。



実施内容

「見立て」をテーマにした作品制作ワークショップ
「見立て」とは、身の回りのものを別の見方で、人の顔や動物、風景はたまた奇想天外な何かに見ることです。子どもたちは会場内（学校であれば、教室や廊下、グラウンドなど）や周辺地域にある様々なもの・ことを見立てて、作品を制作していきます。会場があつという間に美術館に変わっていきます。最終的には期間限定で、地域住民を含む多くの人たちが訪れる一般公開を目指します。



実施条件

- 時期：要相談
- 期間：延べ10日間程度
- 対象：小学生
- 人数：制限なし

文化交流事業【助成事業】

■ 発信交流事業

道内において音楽、演劇、美術、舞踊等の芸術分野で活動している地域文化団体等が、道外又は海外において、現地の文化団体等と交流を行う事業に対して助成します。

事業例

国内発信

- Atelier柴田山「ジロトマッテル」野田村+陸前高田ツアー
- ダンボールシアター「ちび口ボ ダンダン」全国公演

海外発信

- 台湾ダンス文化交流事業 桃園市ストリートダンス文化祭

対象団体

- 地域文化団体（過去3年以上継続的な活動を行っており、規約等を有する団体）
- 市町村
- 市町村教育委員会
- 実行委員会
- 公立文化施設の管理・運営団体 等

助成金の額

助成対象経費の2分の1以内の額（上限額 国内：50万円、海外：100万円）

【算出例①】

収入		支出	
自己財源	30万円	対象経費	100万円
入場料他	30万円	対象外経費	10万円
助成金	50万円		
合計	110万円	合計	110万円

計算式：対象経費 100万円×1／2=50万円以内の額

【算出例②】（使途が特定された助成金等がある場合）

収入		支出	
自己財源	60万円	対象経費	250万円
入場料他	60万円	対象外経費	20万円
使途特定の助成金	50万円		
助成金	100万円		
合計	270万円	合計	270万円

計算式：対象経費 250万円－使途特定の助成金 50万円=200万円

200万円×1／2=100万円以内の額

その他

- 芸術文化振興基金や文化庁等の補助・助成事業等を申請する場合は、必ず事前にお知らせください。
- 企画会社等からの買い取り公演や、展示のみの招へいなど、交流を伴わない事業は対象になりません。

助成要綱

URL : https://haf.jp/pdf/project/youkou03_kouryu.pdf



■ 招へい交流事業

道外又は海外において音楽、演劇、美術、舞踊等の芸術分野で活動している文化団体等を招へいして、道内の地域文化団体等と交流を行う事業に対して助成します。

事業例

国内招へい

- 創立30周年記念演奏会～北海道・東北農民管弦楽団ジョイントコンサート～
- 海外招へい

- 第15回 極寒芸術祭 2025年 TESHIKAGA

応募から結果通知までの流れ

1 提出書類

(1) 事業計画書

当財団のホームページ内に掲載している「令和7年度事業募集」のページからダウンロードして作成してください。

(2) 定款または団体規約

(3) 役員名簿（職業、所属、役職等を記載）

(4) 参考資料（企画書、過去事業のチラシ等）

※申請者が市町村、市町村教育委員会の場合、(2) と (3) は提出不要です。

2 提出期限

令和7年1月31日（金）必着

3 提出方法および提出先

期限までにメールで送付してください。郵送・FAX・持ち込みによる提出は受け付けておりません。

メールアドレス：keikaku@haf.jp

4 結果通知

当財団に設置した専門委員会への付議及び理事会での決定後、令和7年3月下旬にメールで通知します。

5 留意事項

- 当財団の共催負担金・助成金と、北海道や北海道教育委員会からの補助金・交付金等を重複して受けることはできません。
- 当財団のホームページにある該当事業の共催・助成要綱を必ずお読みください。
- 提出後、内容確認のため財団の担当者から連絡する場合があります。
- 採択された事業は当財団のホームページで公開します。

◆ 問合せ先

公益財団法人北海道文化財団

〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11 大五ビル3F

TEL 011-272-0501 (平日8:45~17:30)

メールアドレス：keikaku@haf.jp

◆ 令和7年度事業募集のお知らせ及び「事業計画書」のダウンロードはこちらから

URL：https://haf.jp/project_r6.html 

公益財団法人 北海道文化財団

〒060-0042

北海道札幌市中央区大通西 5 丁目 11 大五ビル 3 階

TEL 011-272-0501 FAX 011-272-0400

<https://haf.jp/>

